

福 井 県 医 師 会

だより

第657号 平成28年(2016)3月



Yellow Spring

福井市 平野 治和

表紙写真説明：Yellow Spring

福井市 平野 治和

少し早いのですが、春のイメージ（菜の花）です。オリジナルは阪本幸円さんの100号の絵画です。素敵な抽象画で、当院に懸架してあります。

## 醫 縫 録

# 鯖江市医師会長就任にあたって

鯖江市医師会長 清水元博



昨年5月に開催された鯖江市医師会定時総会におきまして、第25代医師会長を拝命いたしました。医師会をお預かりする立場となりましたが、議長、副議長や役員の方の先生方のご助言を得つつ会員のご理解を頂きながら医師会運営に取り組む思いです。

鯖江市医師会は、明治20年4月に出された県令第58号で、鯖江市、旧今立町及び池田町の医師により今立郡医師会組合として設立されました（初代会長：土屋寛之先生）。発足当時は20数名の会員により組織されておりましたが、医療機関47、会員92名を擁するまでに発展し、医療、介護、福祉、予防、衛生、健診事業等により地域の皆様の健康を担って参りました。しかし、10年前に今立町が越前市に編入されたことにより数名の先生方が武生医師会に移動となりました。又、6年前には社会情勢により地域医療に欠かせないスタッフを養成しておりました鯖江市医師会立鯖江准看護学院が閉院となり誠に残念に思っております。

ところで郡市医師会はいかに活動すべきでしょうか。予防医学の啓蒙（健診事業、健康講座・健康相談、市民公開講座等）、予防注射・学校医受託事業、救急・災害医療の充実（救急医療勉強会、救急救命士病院研修事業、休日当番医受託事業、防災訓練会議）等の事業を市町の行政と協力し円滑に進めるよう調整すること、又、会員に生涯研修の場を提供することや医師会だよりによる情報伝達も大切な活動と考えております。

近年、我々を取り巻く社会環境も大きく変わってまいりました。

昨年5月の就任以来、環太平洋パートナーシップ協定（TPP）協議、医療事故調査制度、ストレスチェックと面談指導制度、マイナンバー制度など矢継ぎ早に新たな制度が実施されました。

今年4月には診療報酬改定が実施されます。厚生労働省発表によりますと、2016年度診療報

酬改定の本体改定率はプラス0.49%（医科プラス0.56%、歯科プラス0.61%、調剤プラス0.17%）と決定されました。しかし、医療機器・設備の充実、人件費や医療用消耗品などの増大により、更なるプラス改定が必要と考えますがいかがでしょうか（将来、医療費の非課税制度について、ゼロ税率もしくは軽減税率の導入、または、非課税制度でのままで還付を受ける方法等の論議が必要と思います）。又、地域ケア構想の核となるかかりつけ医の評価は14年度改定で地域包括診療料、地域包括診療加算が新設されましたが、算定する医療機関が少数に止まっており、算定要件の緩和等が必要と考えます。6月には、2025年を目途とした地域医療構想と地域包括ケアの試案が出来上がります。この施策が実施されれば、2013年の個々のレセプト診療報酬点数を参考に大幅な病棟数削減とそれに伴う在宅医療患者の急激な増加という事態が生じます。行政は、「治す治療」から地域で「治し支える医療」への転換を目指しておりますが、受け皿となるべき地域力・介護力の充実が不可欠と思います。我々の「不安」が「安」になるよう「君子以て事を作すには始めを謀る」（易経・訟卦）の如く、医療現場の実態を十分に配慮した制度になるよう願っております。又、7月には、参議院議員選挙が実施され自民党公認で自見はなこ日本医師連盟参加が立候補されますが、その折には、全力を挙げて応援したく思っております。

今後とも、先輩諸先生方の作り上げられた団結と融和、貴重な地域医療の業績を踏まえ、更に住民の皆様の期待に沿えるよう努力する所存です。ご支援ご協力の程宜しくお願い申し上げます。